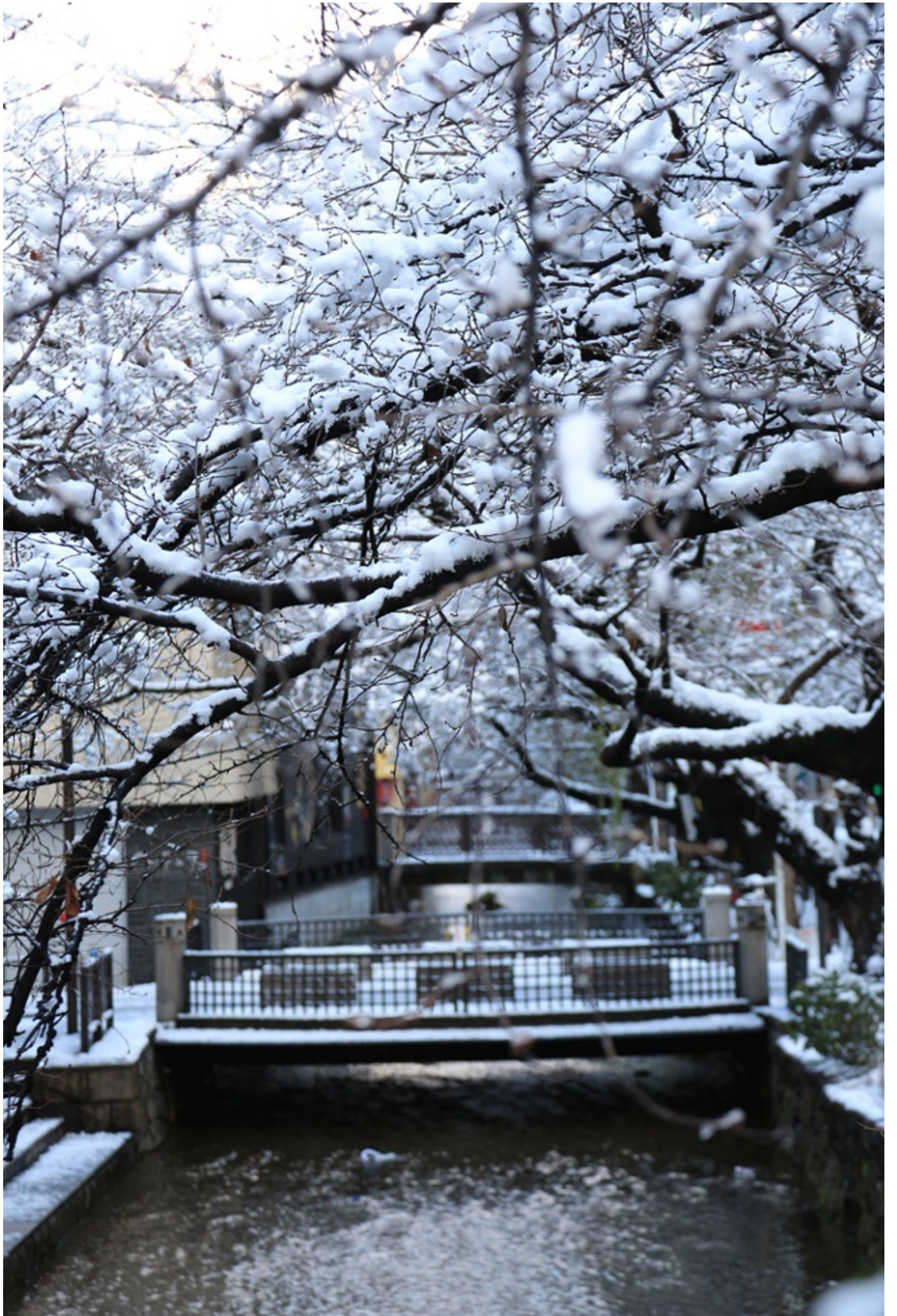


京都の路地は奥に深いです

tou+4







こういう色の京都って、滅多に見ないです。
元旦の夜。大阪から京都に帰ってきたら、
えらいことになってました。

「どこや、ここ。。。？」
高速に積雪。高速を降りたら、雪国。

その雪は、2日の日中に消えたんですが、
その夜、また吹雪。夜が白い。
今日は3日の朝です。



鴨川が白鷺川に。

北のほうの山も真っ白。こうなると、北から南に
下がってくる車の屋根が、白いかまぼこになります、

天狗さん、風邪ひくんやないやろか。



どっかのテレビ局が取材に来ていましたが、
それはどうでもよくて。
問題は、横断歩道が消えて無くなっていること。

どこわたってもええのん？



飛行機が飛んでいく。
右は南座。



安全運転で行きましょう。



場所はわかってるんやけど、何て書いてあったっけ。
四条通り？



その靴はないわー。



漬けもん屋さんの店先に、聖護院蕪が山積み。
千枚漬けの季節ですなあ。

小蕪を薄くスライスして、寿司酢とあえても美味しいです。



7:49 花見小路 まだ人はまばら。



八坂さんが見えてきました。
今日も沢山の人がお参りに来はるんですけど、
この雪やからなあ、、、。



あんた、誰。

上に居るのはカラスです。（ちょんまげではなくて。）
雪を食べていました。



なんというのか、すごく上手に積もってるって感じ。
神社の人たち（多分バイト）が腕まくりして雪かきを
していました。若い！





絵馬。

萌え系ですね。

京都はね、そういうの言い出すともうキリがないですから。



これこれ、これを見ると、ほんまに正月やなあ、って
気分になります。

去年は大晦日の尾張屋の餅花が小さくなってて、
ちょっと肩透かしくらいでした。



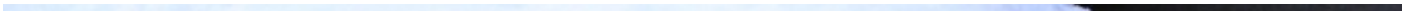


どこまで、耐えられるんか。



やばい。日が昇ってきました。
あまり道草を食っている余裕はありません。
京都の雪は、日が昇るとどんどん融けていくんです。







かわいい氷柱。
氷柱の中には空気の泡が入っています。



石塀小路に入ります。
両側は、旅館や料亭が並んでいます。



可愛いとうせんぼ。







盛りすぎ。



雪が落ち始めました。







”謎だ、、、ここから犯人の足跡が二つに！”
って、ベタなボケを。







二寧坂

これと同じ構図の春の様子がこちらに。

<http://p.booklog.jp/book/84165>



高台寺

ここ、好きなんですど、今日は時間の都合で断念。













ご苦労さんです。



坂の手前で、降りてくる人を避けて
左に寄る、って感じでしょうか。



イヌさん、顔怒ってないか。





誰かシロップ持ってきて。



滑る。

ここで滑るとかなりやばそう。







HENRI CHARPENTIERの”のの字ロール”みたいな巻き方。



これぞまさしく京都の「門掃き」
わかりやすー。





落ちんといてくださいね。

さあ、清水さんへ、もうちょっと。。。
ずっと登りで、息きれてきた。

Illuminarie II	http://p.booklog.jp/book/92975
Monochroque II	http://p.booklog.jp/book/92394
からくれないに III	http://p.booklog.jp/book/92082
Flower Garden II	http://p.booklog.jp/book/91633
Travelogue _ ep.05 山へ行く	http://p.booklog.jp/book/91128
Flower Garden	http://p.booklog.jp/book/90605
Travelogue _ ep.04 蓼科へ	http://p.booklog.jp/book/90182
passer un après-midi 9 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/89673
Monochroque	http://p.booklog.jp/book/89380
passer un après-midi 8 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/88976
passer un après-midi 7 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/88761
空と菖蒲と、蓮と	http://p.booklog.jp/book/88600
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3	http://p.booklog.jp/book/88419
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2	http://p.booklog.jp/book/88206
Travelogue _ ep.03 近つ淡海	http://p.booklog.jp/book/87975
passer un après-midi 6 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/87771
Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」	http://p.booklog.jp/book/87552
「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/87350
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」	http://p.booklog.jp/book/87057
Photo 「花水硝」	http://p.booklog.jp/book/86821
「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86636
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」	http://p.booklog.jp/book/86313
「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86112
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」	http://p.booklog.jp/book/85799
「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/85513
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」	http://p.booklog.jp/book/85209
「passer un après-midi 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/84911
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」	http://p.booklog.jp/book/85209
「Travelogue ep.02 桜巡り」	http://p.booklog.jp/book/84667

「黄金の麦畑」

1.Largo

<http://p.booklog.jp/book/58662>

2.Allegro molto

<http://p.booklog.jp/book/83865>

3.Adajo (連載中)

「黄昏の王国」

イーリアス編

<http://p.booklog.jp/book/49612>

アリシア編

<http://p.booklog.jp/book/51254>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」

<http://p.booklog.jp/book/84165>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」

<http://p.booklog.jp/book/83952>

「Travelogue ep.01」

<http://p.booklog.jp/book/83694>

Photo 「Hina」

<http://p.booklog.jp/book/83499>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」

<http://p.booklog.jp/book/82880>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」

<http://p.booklog.jp/book/82643>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」

<http://p.booklog.jp/book/82160>

Photo 「からくれないに ni」

<http://p.booklog.jp/book/81713>

Photo 「bleu, jaune, vermillion」

<http://p.booklog.jp/book/81111>

Photo 「H.45」

<http://p.booklog.jp/book/80229>

Photo 「Fly me to Paris I～XIV」

Photo 「祇王 こけのころも」

<http://p.booklog.jp/book/74864>

Photo 「空と雨と6月と」

<http://p.booklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」

「ネガティブズ」

<http://p.booklog.jp/book/73051>

Photo 「空と僕と自転車とni」

<http://p.booklog.jp/book/72996>

Photo 「空と僕と自転車と」

<http://p.booklog.jp/book/72092>

Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」

<http://p.booklog.jp/book/71344>

Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」

<http://p.booklog.jp/book/70700>

Photo 「空と雲と、ときどき春の野に行く」

<http://p.booklog.jp/book/70137>

Photo 「空と月と、夜桜デート」

<http://p.booklog.jp/book/69415>

Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」

<http://p.booklog.jp/book/68722>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」

<http://p.booklog.jp/book/65536>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>
Photo 「空と木とたまに月」 <http://p.booklog.jp/book/62540>
Photo 「からくれないに」 <http://p.booklog.jp/book/61473>
Photo 「空と雲と、ときどき月」 <http://p.booklog.jp/book/36294>
Photo 「夢みる桜」 <http://p.booklog.jp/book/45286>

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/31906>
「僕と彼女の選択の事由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/35498>
「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」 <http://p.booklog.jp/book/36101>
「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.booklog.jp/book/36617>
「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.booklog.jp/book/37238>
「僕と彼女と単純な関係式」 <http://p.booklog.jp/book/37731>
「僕と彼女と校庭で」 <http://p.booklog.jp/book/38409>
「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.booklog.jp/book/38977>
「僕と彼女のエリア」 <http://p.booklog.jp/book/46524>
「僕と彼女のインベンション」 連載中

— その他 —

傘がない <http://p.booklog.jp/book/69798>
夕暮れの赤ちょうちん <http://p.booklog.jp/book/42024>
いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>
サマータイム・ブルーズ <http://p.booklog.jp/book/34054>
危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>
デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>
インフルエンス あのころの僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>
花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>

詞画集 「ただ憧憬だけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>

画集 「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>